教科	算数	学年	第6学年

単元名	時数	単元の到達目標（本年のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
● みんなで算数をはじめよう！小学語ないスカルのエ角形	2	【1】算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・問題解決の進め方を理解している。	・パスカルのこ角形の求り方について進め方に従え、説明をすることで考えなり表現しようしている。	・パスカルのこ角形の求り方について進めに従え、説明をすることで考えなり表現しようしている。
1 文字を使った式	6	【2】算数を通す言葉や□、○、△などの記号のそれかに、a、x、hなどの文字を用いて式に表すことを理解し、問題場面の数量の関係を文字を用いた式で表現する力を身に付けます。また、この単元を通して、文字を用いた式の表現のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア,A(2)イ,D(1)ア】	・数量を表す言葉や□、○、△などの記号のそれかに、a、x、hなどの文字を用いて式に表したり、文字に置き換えてはめて調べることができる。<知・技>	・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。<思・判・表>	・文字を用いた式について、数学学に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
2 分数と整数のかけ算、わり算	7	【3】分数・整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、説明などを用いて計算のしかたを考えたり表したりできる。また、その過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア【アイイウ】,A(1)イ【ア】】	・分数・整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解している。それらの計算ができる。<知・技>	・分数の乗法や表現、計算について説明説明に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。<思・判・表>	・分数・整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉えて、よりよいものを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
3 対称な図形	11	【4】対称な図形について理解し、対称な図形をかいたり、線対称な図形や点対称な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア,イ,B(1)イ】	・対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を描くことができる。<知・技>	・図形を構成する要素及び図形の性質に着目し、それらの関係から考察した図形の性質を見いだしたりしている。また、その性質をもとに図形の構成を捉え直したり図形を図にあらわしたりしている。<思・判・表>	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
4 分数のかけ算	11	【5】数が分数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、説明などを用いて計算のしかたを考えたり表したりできる。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア【アイイウ】,A(1)イ【ア,ウ】】	・乗数が分数である場合の乗法の意味について理解している。分数の乗法の計算ができる。また、分数×分数の計算ができる。<知・技>	・分数の乗法や表現、計算について説明説明に着目し、数量が分数である場合を可数の場合と関連付けて考えている。また、その計算のしかたを考えたり、それらを計算のしかたを考えたり、それらを図を活用して表したりしている。<思・判・表>	・分数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
5 分数のわり算	12	【6】数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、説明などを用いて計算のしかたを考えたり表したりできる。また、その過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア【アイイウ】,A(1)イ【ア,ウ】】	・乗数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算の除法の計算ができる。また、分数÷分数の計算ができる。<知・技>	・分数の乗法や表現、計算について説明説明に着目し、数量が分数である場合を可数の場合と関連付けて考えている。また、その計算のしかたを考えたり、それらを図を活用して表したりしている。<思・判・表>	・分数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
6 データの見方	11	【7】表整理や、度数分布表を表すグラフ、及び統計的な問題解決のよさを理解するとともに、目的に応じてデータを集めて整理し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について考えたり表現したりする力を身に付ける。また、それを通して身に付けた統計的な問題解決のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア【アイイウ】,D(1)イ【ア】】	・代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴について理解している。また、目的に応じて適切な表にまとめたり適切なグラフを選んだりしたりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。<知・技>	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向を考察している。また、代表値や「問題場面」について判断している。また、その妥当性について説明的に考察している。<思・判・表>	・データを収集し、分析しようとすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
7 円の面積	9	【8】円の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を説明などを用いて考えたり、なぜを用いたりする力を身に付ける。また、それらの過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア,B(2)イ【ア,イ】】	・円の面積の計算による求め方について理解している。<知・技>	・図形を構成する要素などに着目し、円の面積のあり方を思いたりしているとともに、その表現を簡り返し、現象から問題を見いだしている。<思・判・表>	・円の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
8 比例と反比例	12	【9】比例の関係について理解し、比例の関係を用いた問題解決の方法や、反比例の関係について知るとともに、伴って変わりなどの関係を理解について表や式、グラフを用いて考察する力を身に付ける。また、これらを通して、数量の変化や対応の関係について、多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア【アイイウ】,D(2)イ【ア】】	・比例の関係の意味や性質を理解している。また、比例の関係を用いた問題解決の方法や、反比例の関係について知っている。<知・技>	・伴って変わる2つの数量を考いたして、それらの関係に着目し、比例に従って表や式、グラフを用いて考えたり、それらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・伴って変わる2つの数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
9 角柱と円柱の体積	8	【10】角柱及び円柱の体積の求め方を理解するとともに、それを用いて求めたり、なぜを用いて説明したりする力を身に付ける。また、それを通して、多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(4)ア,B(4)イ】】	・角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。それらの体積を公式を用いて求めることができる。<知・技>	・図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積のあり方について思いたりしている。また、その表現を簡り返し、既習の体積公式を用いて考えている。<思・判・表>	・角柱及び円柱の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
10 比	9	【11】比について理解し、簡単な比を求めたり、等しい比をつくったりすることができるとともに、説明などを用いて表現する力を身に付ける。また、それを通して、多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、比を用いることを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア,C(2)イ,C(2)ウ】	・比の意味や表し方を理解している。簡単な簡単な比を求めたり、等しい比をつくったりすることができる。<知・技>	・日常の事象における数量の関係に着目し、数や式などを用いて数量の関係のあり方を考察し、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・比について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
11 拡大図と縮図	11	【12】拡大図や縮図について理解し、一つの図形の図形を活用し、他の図形図などを用意作成したり、構成のしかたを考えたりする力を身に付ける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア,D(1)イ】】	・拡大図や縮図について理解している。それらの図形を作成することができる。<知・技>	・図形を構成する要素及び図形の性質に着目し、数量のかかる考察した図形の性質を用いたりしているとともに、日常生活に生かしている。<思・判・表>	・拡大図や縮図について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
● およその面積と体積	2	【1】身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。 身のまわりにある形の概形を捉えて、およその体積を求めることができる。	・身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。	・身のまわりにある形のおよその面積や体積を求める場合、概形を捉えて測定しやすい図形にかえり、測定しやすい図形に置いかえりをしたと考えている。	・身のまわりにある形について、その概形を捉えておよその面積を求めようとしたり、生活や学習に活用しようとしている。
■ 地上絵をかこう	2	【13】地図に地上絵（巨図形の分信の拡大図）をかく方法を理解する。		・拡大図のかき方を日常生活の問題解決に生かしている。	
12 並べ方と組み合わせ	8	【14】つの異なる事がらを選ぶと（順序）を考えるための簡単な図（かき方）を用いて、落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよさいて活用し粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア,D(2)イ】】	・並べ方と場合を選ぶと（順序）を考えるための簡単な図（かき方）を用いて、落ちや重なりなく調べる方法を知っている。<知・技>	・事象の特徴に着目し、既習の考え方を用いて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。<思・判・表>	・並べ方と場合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態・学>
● 算数を使って考えよう	2	【15】既習・既知等を活用し、図形解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。		・リップロットを用いて表されたデータ等（分類したり、よみ取った結論の妥当性について考えたり、数学的な表現を用いて算数の学習を活用して考えを説明している。 ・日常の場面から算数の問題を思いだし、目的に応じて重要データ（のみ）を用いて解決のしかたを説明するなど、算数の学習を活用して考えを説明している。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよさいなかを求めて取り組み考えたり、数学のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
13 6年のまとめ	2	【16】小学校の学習内容の復習を確保することができる。	・第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		・第6学年の学習内容について、これまでの学習を活用し振り返り、それを基盤に身につけるように粘り強く取り組もうとしている。
14 算数をより進もう！ もっと楽しもう！	23	【17】小学校の学習内容の復習を確保することができる。 【18】第6学年の学習内容を通して、中学算数の基礎の基礎となる内容に触れることをねらいとして、算数・数学への関心を高める。 【19】算数を活用して解決すべき課題に取り組む。筋道を立てて考えるとよりや楽しさを味わう。 【20】日常生活の問題に取り組み、算数の学習を活用して考えようとする。筋道を立てて考えるとよりや楽しさを味わう。 【21】算数を活用した遊びにつき合ない、算数を学ぶよさを味わう。	・小学校の算数の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		・小学校の算数の学習内容について、これまでの学習を活用し振り返り、それを基盤に身につけるように粘り強く取り組もうとしている。 ・算数の問題に関心をもち、主体的に取り組んだり、数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。